

町医者人生

【笠井耳鼻咽喉科クリニック】
笠井 創先生

12

取材・文／関橋真理

■この場所を選んだのは
流行らないから!?

自由が丘駅から歩いてすぐの笠井耳鼻咽喉科クリニックは平成12年のオープン。笠井先生に、この場所を選んだ理由を尋ねると、「大学の同期のお父さんがこの近くで耳鼻科を開いていて、そんなに流行らないよ、と言われて」決めたのだそうだ。

通常耳鼻科の患者の3分の2は子どもという。自由が丘周辺も年々少子化が進み、子どもの数が少ないので、混み合わないし、儲からないと聞いて選んだ。何故? その訳は、取材を進めるうちに判明するのだが……。

クリニックにはホームページを見て、北海道や九州からも患者がやって来る。その多くは、レーザー治療の希望者だ。レーザー治療は、粘膜を凝固して変性させる事によりアレルギー症状などを緩和させる治療法。笠井先生はアレルギー性鼻炎、花粉症、鼻ポリープなどの治療に取り入れている。

レーザー治療のよいところは、入院が不要で日帰りでき、薬の

使用量を減らしたり、強い薬に頼らなくてもよくなること。安全性も高いのもっと普及してもいいはずだが、診察に追われる日々では実施がむづかしい。

■ゆったり診療なら
レーザー治療も可能

笠井先生は自由が丘で開業する前、横浜にクリニックを開いて毎日200人近い患者さんを診ていた。「そんな状態では、患者さん一人ひとりに多くの時間は割けないし、説明も十分できないですよ」。レーザー治療がいいと分かっているけど、忙し過ぎて受け入れる時間がとれなかったという。そ



待合室

クリニックのHPにレーザー治療の詳細を載せ、質問や問い合わせにも応じる笠井先生。



治療室ではモニターにより、治療の様子が確認できる。

ここで、あまり混み合わない場所でも、レーザー治療などを求めている人にきちんと対応できるようにと思い、「流行らない」と言われた自由が丘を選んだのだ。おかげで、蓄膿症がひどいが入院して手術する時間がない人や、鼻が詰まって苦しいので長い間薬に頼っていた人などの手助けができるようになった。

患者をしつくり診たい、特殊な治療を求めて来る人に応えてあげたい、そのためにあえて患者の数の少ない場所で開業するという選択。「年齢的にも忙しくしたくないだよ」と語る先生だが、その笑顔は若々しく、爽やかだ。



■診療科目 耳鼻咽喉科

■目黒区自由が丘1-29-14

Jフロントビル3F

■東急東横線自由が丘駅より徒歩1分

■電話 (5729) 4187

■<http://www.linkclub.or.jp/~entkasai/>

■診療時間 9:00~12:30、

15:00~18:30/土曜日 9:00~

12:30、15:00~17:00

■休診日 木曜日・日曜日・祝祭日